



平成17年度第1回通常総会

5月27日(金)午後1時から、けいはんなプラザ・3階大会議室「ナイル」において社団法人としてはじめての通常総会が開かれました。

理事長あいさつ 船越 昇

精華町シルバー人材センターは4月1日から社団法人として順調にスタートしました。と同時に、平成17年度からセンターの事業費の一部を国と京都府から負担していただくことになりました。

公益法人としての資格が授与され、厳しい財政事情の中で国と府に補助金支給を決めていただいたのは、直接的には精華町、京都府、(社)京都府シルバー人材センター連合会、それに厚労省京都労働局のご尽力によると言えます。だが、この決定の前提には、会員の皆様方の誠実な働きぶりが業績に反映され、これが高く評価されたことは確かです。会員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。それと同時に、社会の期待に応えていくためには、会員と役員がこれまで以上に力を合わせて、地域に貢献していかなければならないと決意を固めています。

先にお配りしました平成16年度事業報告・収支決算書でお知らせしましたように、平成16年度の業績は、契約高が前年を件数で54%、金額で18%上回り、順調に成長しました。この仕事を延べ1万2千人の会員が受け持ち、その働きに対して、約4,600万円の配分金をお支払いしました。会員のうち、87%に当たる218人がなんらかの仕事についてもらったこととなります。

大変ありがたかったことは、平成16年

度も仕事に関してのもめごとや、事故がほとんどなかったことです。これも、みなさま方のご努力の結果であると心から感謝申し上げます。全国的にみると、平成16年度に45件の死亡事故が発生しています。就業中のもの28件、現場に向かう途中の交通事故17件、がその内訳です。幸い、精華町シルバーでは、軽傷2件に留まりました。だが、喜んでばかりはられません。軽微な事故1件の裏には数十倍の事故寸前の「ハッ」とした行動が存在するといわれています。みなさん、どうか心を引き締めて、今年も事故ゼロを目標にがんばってください。

平成17年度の事業運営の考え方は、平成16年度と基本的にはほとんど変わっていません。あらゆる機会を捉えてシルバー人材センターの存在をPRし、会員の増強と就業機会の確保・拡大につなげる。安全就業を徹底し、技能講習会を通じて会員の技能向上を図る。組織を強化・充実したいと考えています。

今年度特に力を入れて行きたいのは、地域班、職域班の結成です。センターは基本理念に「自主・自立・共働・共助」掲げています。これはセンターの運営は会員の自主性を最大限に発揮してもらうことを意味しています。実際の仕事や社会活動に当たっては、会員同士が地域ごとに連帯して共に働き、共に助け合っていこうというものです。地域班、職域班は活動の拠点になる組織です。皆様のご協力をお願いします。

第1回通常総会(5月27日)

全議案を原案どおり承認可決しました。

第1号議案 平成17年第1・2次収支補正予算(案)について

第2号議案 役員承認について

出席会員数 登録261名中70名出席、委任状134名
議長 岩前良明氏

平成17年度役員

理事 浅田清隆
玉岡宣彰
船越 昇
監事 井澤達男

井上邦子
富川隆雄
松尾清敏
田中一夫

岩井義人
西島光雄
脇門幸一郎

川野武豊
久村 勝
和田 学

